

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0867  
 住 所 川崎市川崎区扇町12番2号  
 氏 名 ペットリファインテクノロジー株式会社  
 代表取締役社長 高尾 正樹 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ペットリファインテクノロジー株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区扇町12番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	使用済みPETボトルを異物・色素を去除き、従来のPETボトル用樹脂と同等の品質を有する樹脂の製造及び、高機能樹脂製品の開発と製造。		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,759	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度（報告年度平成29年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 30,218 t-CO <sub>2</sub> (調) 29,973 t-CO <sub>2</sub>	(実) 29,602 t-CO <sub>2</sub> (調) 29,360 t-CO <sub>2</sub>	(実) 7,498 t-CO <sub>2</sub> (調) 7,421 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub> (調) t-CO <sub>2</sub>	(実) 29,311 t-CO <sub>2</sub> (調) t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 2.0 % (調) 2.0 %	(実) 75.2 % (調) 75.2 %	(実) % (調) %	(実) 3.0 % (調) %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産量		単位	t-CO <sub>2</sub> /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	1.431	1.382	1.323		1.388
削減率		3.4 %	7.5 %	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	温室効果ガスの排出量は基準年度に対し2.0%の削減率、生産量当たりの排出量原単位も3.4%の削減率で、年平均1%の削減目標を達成できました。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガスの排出量は10月に生産を停止したため75.2%と大幅に減少した。</li> <li>・前年度に実施した改善案を安定して運用できた事により排出原単位も7.5%減と目標を達成できた。</li> </ul>
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	(1) 設備の改善 設備の改善により生産効率を向上、運転状態の把握、運転条件、設定条件(温度・圧力等)の見直しにより温室効果ガス排出量の削減。 (2) 事務所棟空調設備の管理 老朽化による空調設備の更新:1年目は8台/24台予定 (3) 照明設備の運用管理 LEDの優先導入の継続
	第1年度	(1) 設備の改善 温暖化ガス排出源となる主要な設備での、温室効果ガスの排出量削減目標を達成するための措置内容の実施。 (2) 事務所棟空調設備の管理 老朽化による空調設備の更新 (3) 照明設備の運用管理 LEDの優先導入の継続
	第2年度	(1) 運用方法の歯止め 温暖化ガス排出量削減のために設備改造や運転方法の改善を行ったが、安定して定常化するためのSOP, 文書化を行い周知徹底を図った。 (2) 改善案 温室効果ガスの10%削減を目標にして改善案件の掘り出しを行った。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 事務用品等のグリーン購入推進</li> <li>(2) 廃棄物の減量化・分別化の推進</li> <li>(3) 敷地面積の25%緑地確保</li> <li>(4) 配送の効率化</li> <li>(5) 公共機関利用促進による通勤における温室効果ガス排出量削減</li> </ul>
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 事務用品についてはのグリーン購入の実施。</li> <li>(2) 廃棄物の減量化対策を一部開始、僅かな減量にとどまるも、次年度に注目。</li> <li>(3) 敷地面積の25%緑地確保</li> <li>(4) 往路の空車の利用及び20tコンテナ車利用の実施。</li> <li>(5) 従業員の公共機関利用促進。</li> </ul>
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 事務用品についてはグリーン購入の実施。</li> <li>(2) 廃棄物の減量化対策：廃水汚泥を月当たりで40%削減</li> <li>(3) 敷地面積の25%緑地確保</li> <li>(4) 往路の空車の利用及び20tコンテナ車利用の実施。</li> <li>(5) 従業員の公共機関利用促進。</li> </ul> <p>事業撤退につき一部を除き活動を休止中。</p>
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	7,334	t-CO <sub>2</sub>
(調)	7,231	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
ベトリファインテクノロジー株式会社	川崎市川崎区扇町12番2号	1851	再生PET樹脂製造	7,334 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--